



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 新家工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,251	4.1	922	44.6	1,121	37.6	659	41.2
2019年3月期第3四半期	32,592	11.0	1,663	1.5	1,797	0.1	1,120	10.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 848百万円 (95.6%) 2019年3月期第3四半期 433百万円 (79.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	118.33	
2019年3月期第3四半期	202.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	48,364	25,733	49.9
2019年3月期	46,369	25,246	51.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 24,157百万円 2019年3月期 23,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		65.00	65.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	0.6	1,900	7.9	2,000	10.6	1,200	20.2	215.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,045,326 株	2019年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	474,364 株	2019年3月期	474,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	5,571,018 株	2019年3月期3Q	5,527,018 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦などによる世界経済の減速から輸出は伸び悩み、台風被害の影響や消費税増税による消費の落ち込みなど景気は先行き不透明な状況が続きました。

このような情勢のもと、鋼管業界におきましては、世界経済の不確実性が高まるなかで、輸出企業の投資意欲の減退に加え、自動車関連や建築関連等の需要も消費税増税などの影響から鈍化傾向となりました。

普通鋼製品につきましては、原材料価格が高値で推移しているものの、建築関連や自動車関連等は消費税増税などの影響から需要は弱含んでおり、販売価格への転嫁は難しく、価格維持に努めました。

ステンレス鋼製品につきましては、ステンレスの原料であるニッケル価格は高値から値下がり傾向にあるものの、原材料価格は値上がりが続いており、販売価格是正を進めました。このような中で、食品・飲料、製薬・水処理関連向けや鉄道車両等は堅調に推移し、半導体設備向けの一部にも持ち直しの動きがみられました。しかし、建築関連等の大型案件の引き合いは少なく、販売量確保に注力いたしました。

当社グループといたしましては、景気の不透明感が増す中で、製品の安定供給に努め、主力の鋼管事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図れるよう積極的な営業展開を実施するとともに、設備稼働率の向上とコスト削減に注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,251百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益922百万円（前年同期比44.6%減）、経常利益1,121百万円（前年同期比37.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は659百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は48,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,994百万円増加しました。流動資産は29,561百万円となり333百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少755百万円であります。固定資産は18,802百万円となり2,327百万円の増加となりました。これは主に、建物（純額）の増加2,935百万円と有形固定資産のその他（純額）（建設仮勘定）の減少969百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は22,630百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,508百万円増加しました。流動負債は19,199百万円となり1,713百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債務の増加924百万円、短期借入金の増加1,752百万円、その他（設備関係支払手形）の増加1,065百万円と支払手形及び買掛金の減少1,596百万円であります。固定負債は3,431百万円となり204百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少250百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は25,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ486百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加297百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米中貿易摩擦については部分的合意が見られたものの問題が払拭されていないことや中東情勢の緊迫化、新型肺炎による影響等さらなる世界景気の下振れリスクが懸念され、日本経済の先行き不透明感は益々強まっております。

鋼管業界におきましては、首都圏を中心とした大規模再開発や物流倉庫の新設、設備の老朽化や人材不足に伴う省力化・合理化のための投資需要は依然堅調が見込まれる一方で、一時的な景気の下振れによる需要の落ち込みも懸念され、弱含みで推移するものと思われまます。

また、連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,052	8,196
受取手形及び売掛金	10,582	9,826
電子記録債権	3,737	3,929
商品及び製品	5,317	5,440
仕掛品	484	468
原材料及び貯蔵品	1,425	1,498
その他	435	332
貸倒引当金	△140	△129
流動資産合計	29,895	29,561
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,771	4,707
土地	4,636	4,634
その他（純額）	3,470	2,859
有形固定資産合計	9,879	12,201
無形固定資産	55	121
投資その他の資産		
投資有価証券	6,069	6,146
その他	481	334
貸倒引当金	△11	△0
投資その他の資産合計	6,539	6,479
固定資産合計	16,474	18,802
資産合計	46,369	48,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,454	8,858
電子記録債務	529	1,454
短期借入金	3,368	5,120
未払法人税等	197	31
賞与引当金	419	207
事業構造改善引当金	475	247
災害損失引当金	17	2
その他	2,024	3,279
流動負債合計	17,486	19,199
固定負債		
長期借入金	850	600
役員退職慰労引当金	29	38
環境対策引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,061	1,901
資産除去債務	7	7
その他	667	865
固定負債合計	3,636	3,431
負債合計	21,122	22,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,171	4,171
利益剰余金	15,091	15,388
自己株式	△694	△694
株主資本合計	22,509	22,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,168	2,214
為替換算調整勘定	△510	△530
退職給付に係る調整累計額	△395	△332
その他の包括利益累計額合計	1,263	1,351
非支配株主持分	1,474	1,575
純資産合計	25,246	25,733
負債純資産合計	46,369	48,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	32,592	31,251
売上原価	26,688	25,969
売上総利益	5,904	5,282
販売費及び一般管理費	4,240	4,359
営業利益	1,663	922
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	164	166
仕入割引	21	18
その他	50	87
営業外収益合計	244	277
営業外費用		
支払利息	26	21
売上割引	23	21
為替差損	21	8
その他	38	26
営業外費用合計	110	77
経常利益	1,797	1,121
特別利益		
段階取得に係る差益	28	—
固定資産売却益	0	2
受取保険金	46	—
特別利益合計	75	2
特別損失		
災害による損失	194	16
固定資産除却損	4	9
特別損失合計	198	26
税金等調整前四半期純利益	1,674	1,097
法人税、住民税及び事業税	258	113
法人税等調整額	129	222
法人税等合計	387	336
四半期純利益	1,287	761
非支配株主に帰属する四半期純利益	166	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,120	659

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,287	761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△838	46
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△82	△21
退職給付に係る調整額	66	62
その他の包括利益合計	△853	87
四半期包括利益	433	848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276	747
非支配株主に係る四半期包括利益	156	100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,757	486	329	32,573	19	32,592	—	32,592
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	31,757	486	329	32,573	19	32,592	—	32,592
セグメント利益又は損失 (△)	1,428	△24	277	1,681	0	1,682	△18	1,663

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「鋼管関連」セグメントにおいて、ステンレスパイプ工業株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが43百万円発生しております。のれんの償却額43百万円があり、のれんの未償却残高はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,510	349	383	31,243	8	31,251	—	31,251
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,510	349	383	31,243	8	31,251	—	31,251
セグメント利益又は損失 (△)	655	△69	323	909	1	910	11	922

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。